

## 「平成15年度畜産草地試験研究推進会議」開催

平成15年度畜産草地試験研究推進会議は、平成16年2月18日に畜産草地研究所大会議室において農林水産技術会議事務局、農林水産省生産局畜産部、家畜改良センター、農業生物資源研究所、農業環境技術研究所、農業工学研究所、国際農林水産業研究センター、農業・生物系特定産業技術研究機構本部、生物系特定産業技術研究支援センター、中央農業総合研究センター、野菜茶業研究所、動物衛生研究所、北海道農業研究センター、東北農業研究センター、近畿中国四国農業研究センター、九州沖縄農業研究センター、農林水産先端技術産業振興センター、畜産草地研究所等からの参加を得て、本会議、評価企画会議及び推進部会を開催した。

本会議では、まず、畜産草地研究所企画調整部長から、午前中に行われた推進部会の概要が報告された。引き続き、畜産草地研究所の担当研究部長より家畜育種・繁殖、家畜生理・栄養、畜産物品質評価、家畜生産、畜産環境、飼料作物開発、飼料生産、放牧、草地生態、山地畜産の各研究分野における情勢と研究方向についての報告があった。農業生物資源研究所発生分化研究グループ長から家畜生命科学分野における情勢と研究推進方向について報告があった。地域の畜産草地試験研究を巡る情勢と研究方向については、地域農業試験研究推進会議の畜産草地部会長等より報告があった。重要研究問題「畜産草地分野における地域産学官連携の推進」について各研究分野及び地域農業試験研究推進会議の畜産草地推進部会での検討結果が報告された。これらの報告と問題別研究会で示された研究方向をもとに、

来年度の重点化方向について論議した。一連の議論を通じて、畜産草地分野の重点化方向をまとめた。

評価企画会議では、まず、主要研究成果候補課題の検討、評価、採択が行われ、レフリー2名（普及成果については3名）の事前審査が終了している114課題のうち、評点CとD（A、B、C、Dの4段階評価）がついた課題を中心に採択の可否を検討した。その結果、1課題を除いて指摘事項を修正することを条件に採択された。次に総括推進会議に向けた「研究開発ターゲット成果」の選定が行われ、畜産草地研究所企画調整部長より畜産草地区域からの成果候補として9課題を提出することが提案され、議論の後、了承された。最後に、新品種候補系統等の審査結果の報告と承認が行われ、エンバク及びチモシーの各1品種についての審査結果が畜産草地研究所飼料作物開発部長より報告され、命名登録候補として承認された。

推進部会では、まず、機構の「研究開発ターゲット課題」について、畜産草地研究所企画調整部長が本年度の取組み実績と「研究開発ターゲット成果」候補について報告した。次に本年度開催された問題別各研究会について、各研究会担当部長が概要と研究会で示された研究方向を報告した。引き続き、重要研究問題「畜産草地分野における地域産学官連携の推進」と問題別研究会で示された研究方向等への取組みについて、各研究分野及び地域農業試験研究推進会議畜産草地推進部会で検討した結果が報告された。

（企画調整部 研究調整官 石田元彦）



冒頭で挨拶する横内理事



推進会議全体風景